

社民党

## 渡辺みのる通信

● 第 15 号 ●

発行日 / 2011年(平成23)5月(3月議会号)

発行 / 渡辺みのる後援会

石川町大字北山形字引地1

電話&amp;FAX 0247-26-6994

携帯 090-2798-0434



## 写真説明

原発事故の影響で、さくらまつりやいろいろな大会が中止となり、自粛ムードが蔓延しています。桜や野山に花が咲き、農作業が進む様子を見ると、少し安心し、心が和みます。

## 原発事故の1日も早い収束を 放射能対策と産業の振興を

この度の東日本大震災で死亡された方、被災された皆さんに心から、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

今こそ、政府や県、町、そして、国民が力を合わせ、復興に向かわなければならないと考えています。

3月4日から11日まで、3月議会が開かれました。町の1年間の予算が決まり、平成23年度がスタートしました。

原発事故の収束は、見通しが立たず、町の事業計画も、変更せざるを得ないところも出てくることでしょう。対策は長年を要するでしょうから、議会、町長、町民が一体となって、頑張りましょう。

特に、放射能の対策と共に、これからの産業の振興、雇用の確保に全力で取り組むことが重要と考えています。

## わさび畑に 春の香り



4月に入ると、真白いわさびの花が咲きます。春の香りを感じ、元気をもらうことができます。早いもので、植栽してから、10年が過ぎ、今になって、やっと、写真に写せるまでになりました。一面に広がる白い花の群生は、さわやかです。

さらに、おひたしにすると、口の中で、ほのかなわさびの香が鼻の奥まで広がり、春の香りを感じさせられます。



◆一般質問から◆

**渡辺**：庁舎は100年の町づくりであり、  
町民の意見を十分に反映を  
**町長**：10億7千万円で、町有地に早急に建設したい

**渡辺** 庁舎建設は町の未来像をどのようにつくっていくかであり、庁舎はその中心になります。どのように考えているか。

**町長** 庁舎は限界にきていると判断している。効率的な庁舎、町民に親しまれる庁舎、防災の拠点になる庁舎を考えています。

**渡辺** 100年の町づくりであり、どのような町づくりを目指すかによって、機能や場所も違ってきます。庁舎建設で、どのような町を目指すのか。

**町長** 庁舎建設は長年議論してきた。庁舎は行政事務を行う場所である。効率性や機能性を高めたい。

**渡辺** 防災の拠点にする場所という、川の側や崖の下ではまずいのでないか。

**町長** 災害の起きないところにつくるのは当然です。

出産一時金4月から

**38万円が42万円へ**

国保加入者の出産一時金を4月1日から38万円から42万円に引き上げました。また、重度心身障害者の医療費給付の対象者範囲を拡大しました。3級で心臓や腎臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸、免疫機能障害者に、肝臓の機能障害者を加えました。

子どもの未来のために ⑮

大震災から1ヶ月半、今学校では

県内の教師が何度も編集会議を行い、ほぼ1年かけて出来上がるのが、福島土地柄をふんだんに盛り込んだ「夏友」である。今年の4年生の夏友には、電力供給源としての福島第1原子力発電所が、そして郷土の行事として相馬野馬追が、写真入りで紹介されていた。

今、前者は見るも無惨な姿となり、そして後者は原発の影響により、存続の危機に瀕している。

子どもは、自然との関わりの中で、心身共に成長している。そんな普通の事が懸念される事態になった。「長時間戸外にいない方が…、土いじりは良くない…」等々。行事も一部変更、放射能の影響は、学校を一変させた。

職員室では常時テレビをつけ、情報収集を図って、万が一に備える。加えて、余震の恐怖も消えない。その都度子どもたちは緊張し、机の下に潜る。

校庭に立っていることはできず子どもたちを座らせた3・11の激震から1ヶ月半、震災はまだまだ終わっていない。これからどんなことになるのか予測がつかない不安を抱えながらも、希望に満ちた新学期は始まっている。(F・S)



4月27日、八幡山頂上に句碑が建立されました。「静かさや 散りすましたる 桜谷」江戸時代に露珊(石都々古和氣神社祠官)によって詠まれたものです。

**渡辺** 町民の声を先ず聞くべきでないか。

**町長** 庁舎建設は今までも議論してきた、もう前向きに進めないといけな。基本計画をつくり、町民の意見を聞くようにします。

**渡辺** 庁舎機能に、環境に配慮することや石川地方の中心都市としての機能、石川の個性ある庁舎など考えていくべきと思うが。

**町長** 十分配慮します。

**渡辺** 町の示している「費用は10億7千万円以内」「場所は町有地」という前提条件では、町民の議論もできない。この前提条件を取り消すべきと思うが。

**町長** この前提条件をベースに考えていく。費用を考えれば町有地しかない。しかし、これでびっちり縛るものではない。

**渡辺** 安くすることは当然であるが、庁舎は100年の大計であり、おっつけ仕事になることを心配しています。庁舎ができるまでの間、現庁舎の改善を少しでもするべきであるが。

**町長** 早く庁舎を建設する。尚、職員とは十分話し合いをします。

23年度予算額は58億円

雇用対策で37名を雇用予定

平成23年度一般会計予算が成立しました。総額58億4千万円で、昨年より5千万円の減少予算です。

収入で減ったのは町税、国県支出金、町債で、増加したのは国からの地方交付税で、町税の比率が26%に下がりました。

支出では民間保育所への負担金、子ども手当、介護や国保、後期高齢会計への負担、議員年金負担などが増加。衛生費、農林水産業費、土木費、教育費、償還金などが減少しました。

雇用対策では13事業で37人を雇用する予定。子ども支援事業(臨時保育士12名)、公共施設(除草や管理6名)、桜整備(桜並木保全民間業者で4名)、家屋台帳の整備(データ入力2名)、不法投棄パトロール(2名)、健康づくりアンケート集計(2名)等。

◆一般質問から◆

渡辺：民生児童委員の活動に支援を

町長：町民への啓蒙や活動しやすい環境をつくる



今では珍しくなった在来種のカントウタンポポ

**渡辺** 昨年、早稲田大学の名誉教授安在邦夫先生から図書や資料の寄贈を受けたが、保管はどこに。

**教育長** 旧森林技術センターと歴史民俗資料館に保管。

**渡辺** 安在先生は自由民権運動の研究では、第一人者であるので、図書や資料と共に人的な協力を活用できると考えるが、町の考えは。

**教育長** 貴重な資料であり、全国歴史研究家の方々に活用できるようになればよいと思う。しかし、町にとっては大変な事です。整理分類が進んだ段階で、活用を図っていききたい。

**渡辺** 整理活用の計画をつくり、進めることが寄贈者への礼儀であると思しますので、よろしくお願ひしたい。



山橋地区を走る県道添いの杉の伐採が行われ、感謝です。

数字で見る石川町の放射能

空気中の放射線量

単位：マイクロシーベルト（1時間当たり）

月日	石川町役場	白河市	郡山市
3.15		7.70	
3.18	0.75	2.40	
3.28	0.25	0.86	2.63
4.8	0.16	0.69	1.65
4.18	0.15	0.67	1.46
4.28	0.16	0.64	1.22
5.8	0.16	0.61	1.35

学校の校庭での基準は3.8マイクロシーベルト以下とされています。

**渡辺** 民生児童委員の皆さんは、低所得、高齢、障がい、児童、介護等の分野で、調査、相談、情報提供、支援などの活動を行っています。町民と行政のつなぎ役として、益々重要な役割を担っています。これからもその役割は大きくなっていくと思う。町の考えは。

**町長** 活動は地道であるが、非常に大変な仕事であり、このような人がいて町政が成り立っていきと感じています。

**渡辺** 1期でやめる人も多いので、町の支援が必要です。相談体制を含め人的な支援が必要と考えるが。

**町長** 町民への啓蒙や町の支援を行い、活動しやすい環境をつくっていききたい。



原発に頼る  
電気エネルギー

3.11東日本大震災による東京電力発電所の事故は、解決の見通しは立っていない。そして、多量の放射能をまき散らし続けています。

原発は安く、クリーンエネルギーだ。何よりも絶対安全だと、信じ込まされてきた。

しかし、何れも、嘘であった。

先ず望むことは、1日も早い、原発の収束であり、放射能の飛散を止めて頂きたい。

これがないと、次の一步に踏み出せない。花見をしても、感動しない。宴会になっても盛り上がりないと聞く。

冷静になって考えれば、放射能はすでに、空気中にも、大地にも、樹木や草にも、建物にもすべてのものに付着しています。そこから放射線を出し続けています。

これから何十年も、この放射能と共に生き続けなければならないのです。

便利な生活を得るためだったが、その代償はあまりにも大きすぎます。

日本国土に55基の原子力発電所が稼働しているという。一向に、「止める」とはならない。

私たちも茨城のJCO事故や新潟刈羽原発事故の時も対岸の火事と考えていたと思う。

自然エネルギーへの転換を求めて、脱原発の声をこの福島から発信していかなければならないと思います。

**地元の野山に咲く、スミレの花を集めてみました。  
皆さんは、何種類見たことがありますか。**

スミレは  
たくさんの種類があります。  
日本では約300種とか。



ケマルバスミレ



スミレ



エイザンスミレ



ヒカゲスミレ



マキノスミレ



アケボノスミレ



タチツボスミレ



アカネスミレ



アオイスミレ

**孤独は、たばこや肥満より体によくなく  
よき家族、よき友がいれば生存率1.5倍。**

孤独が寿命を縮めることが医学的にも証明されています。

厚労省・研究班が08年発表した報告では、周囲に支えてくれる家族や友人が「少ない」人は「とても多い」人と比べて、脳卒中死亡率が1.5倍に高まるという。男の方が1.6倍になっているから、男の方が孤独に弱いのだろう。

調査は茨城・新潟など5県の中高年の男女、4万4千人を、10年間追跡調査したという。その結果、社会的支えが「多い」人に比し、「少ない」人との脳卒中死亡率が1.5倍高かったというものです。

同じ報告は、海外でもあります。アメリカブリガムヤング大学研究チームの論文。「友人や家族、隣人、同僚に恵まれた高齢者は、孤独な高齢者に比べて、長生きできる可能性は1.5倍も高い」という。

平均年齢約64歳の男女、平均7.5年間の人間関

係と検診結果との関連を解析したものの、結果、社会的関係性の高い人の生存率は1.5倍高いことが判明したという。

生存率で比較すると、「孤独」は「1日15本喫煙」や「アルコール中毒」と同じくらい寿命を縮める。更に、「運動不足」より高く、「肥満」の2倍もリスクは高い、同チームは次のように結論づけている。「社会的な関係と死亡率の関連は、一般的に見られることだ。この危険因子を減らすための対策は高齢者で特に必要だろう。社会的関係にもとづく介入が生活の質向上をもたらす」、ここでおもしろいのは「社会的関係」とは「けんかばかりしている人間関係」でも、健康向上に役立つという事実。「日常的なつき合いは心理面だけでなく、体の健康にも直接的に影響がある」と、研究チームは強調している。

…たまには、心に浮かんだあの人に電話してみませんか？懐かしい声が帰ってくるはずですよ。

(船瀬俊介の体にいいコラムより)